

「宮沢賢治の世界から環境問題を考える」

企画展 第1部 「星とゾウのまち多賀からイーハトーブをもとめて」

期間:2011年8月2日(火)～9月4日(日) 終了しました。

会場:あけぼのパーク多賀ギャラリーと美工展示室

テーマ:「宮沢賢治の世界」の企画展です。展示 期間中は博物館の常設展示室の入館も無料になります。

なお次の日時には、当博物館・文化財センターのスタッフによる展示解説を行います。

8月6日(土)、7日(日)、13日(土)、20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)

いずれも15時から

展示風景



○ 天究館と賢治

天究館は星空とおおぞらを見つめ、多くの人々が交流する施設、天文台です。

天究館で生まれた「賢治星」、賢治の弟清六さんとの交流などについても展示しています。

○イーハトーブの石たち 賢治の地的世界

賢治の人物と地質学の関係を表示します。産総研地質標本館特別展「イーハトーブの石たち -宮沢賢治の地的世界」の展示パネルを使用させていただきました。

賢治の作品に出てくる石(鉱物)を表示します。

8月14日(日)14時には加藤碩一氏((独)産業技術総合研究所 つくばセンター)の

「宮沢賢治の地的世界」の講演があります。

○アケボノゾウと賢治

賢治が名づけた北上川の「イギリス海岸」のようす(白色の泥岩と足跡化石)は、滋賀県の野洲川に同じような場所 (ほぼ同じ時代の地層と足跡化石が見られる)があります。

多賀町で発掘されたアケボノゾウがいたころの環境も、イギリス海岸の地層ができたときと同じような風景が広がっていたと考えられます。

○多賀の植物と賢治

賢治の作品には多くの植物が登場します。多賀町にも同じ植物が多くあります。作品に出てくる植物で多賀町に自生する植物を表示します。展示期間中にも、8月18日(木)10時に「賢治の植

物観察会(2)」を高取山で実施します。

○猫又と賢治

自然を愛した考古学者 猫又さん(故 松澤修さん)の文と挿画で、賢治の作品の紹介をします。猫又さんは当館で作品展や賢治の朗読会を開催していただいたこともあります。

○賢治と多賀の子どもたち

宮沢賢治の作品と多賀小学校の学習のとりくみについて展示します。

・賢治の作品「やまなし」を深く読む。

・多賀の環境を調べる。

この展示期間中(8月2日(火)～9月4日(日))、および企画展第2部の「賢治と清六」の期間中(9月17日(土)～10月23日(日))は常設展示室の入場は無料になります。

また、期間限定で、宮沢賢治グッズを販売します。